

梨病害虫発生状況調査速報

兵庫県農業共済組合 豊岡事務所
豊岡農業改良普及センター
JAたじま豊岡営農生活センター

調査日：令和4年6月20日（月）

1 調査項目

表-1

調査項目	黒斑病	黒星病	赤星病	サビダニ類	ハダニ類	アブラムシ	新梢の止まり具合	果実径
調査標本数	100葉	100葉	100葉	新梢100本	20葉	新梢100本	新梢50本	20果

2 調査結果

(1) 黒斑病（調査結果 0～2%）

黒斑病の発生が一部の園地で見られました。黒斑病は毎年の防除の積み重ねが大切です。梅雨時期の高温多湿の条件下で発生しやすくなります。園地での大発生が起こらないように、病斑のついた落葉の除去や施肥管理に十分注意しましょう。

(2) 黒星病（調査結果 1～3%）、赤星病（調査結果 2～3%）

黒星病・赤星病の発生が見られました。様々な品種が混在している園地においては、赤星病の発生に注意してください。

(3) ニセナシサビダニ（調査結果：12～19%）

ニセナシサビダニが見られました。発生量が増えたら、早期に防除を行いましょう。6月上旬が防除適期でしたが、実施されましたか？

(4) ハダニ類（調査結果 0～0.5匹/葉）

ハダニ類が見られました（一部園地で発生が多くなっています）。ハダニ類の特徴として、高温・乾燥条件で多発する傾向があります。今後は、気温が上昇し、発生量も増えます。ニセナシサビダニと一緒に防除しましょう。この時期の発生抑制が、今年の発生量を大きく左右します。一枚の葉に2匹以上見かけるようになったら、すぐに防除しましょう。

(5) アブラムシ類（調査結果 1%）

アブラムシ類が見られました。発生の程度によっては、葉が縮れる等、今後の生育に影響を与えるため、防除を徹底してください。

(6) 新梢の止まり具合

表-2

調査地区		新梢の止まり具合 (%)	
		R4.6	R3.6
豊岡	金剛寺	18.0	4.0
城崎	飯谷	16.0	8.0
竹野	濱須井	22.0	10.0
平均		18.7	7.3

新梢の停止は、全体的に昨年よりも早くなっています。

薬剤散布等を行う場合は、「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」等を参考にしてください。

(7) 果実の生育について

表-3

調査地区		平均果実径 (mm)	
		R4.6	R3.6
豊岡	金剛寺	39.6	38.9
城崎	飯谷	33.1	33.4
竹野	濱須井	36.0	37.6
平均		36.2	36.6

果実の肥大は、昨年並みとなっており、概ね順調に生育しています。

光合成に最適な気温は20～30度といわれています。今年は5月下旬に平均気温が20度を超えていました。

3 気象情報

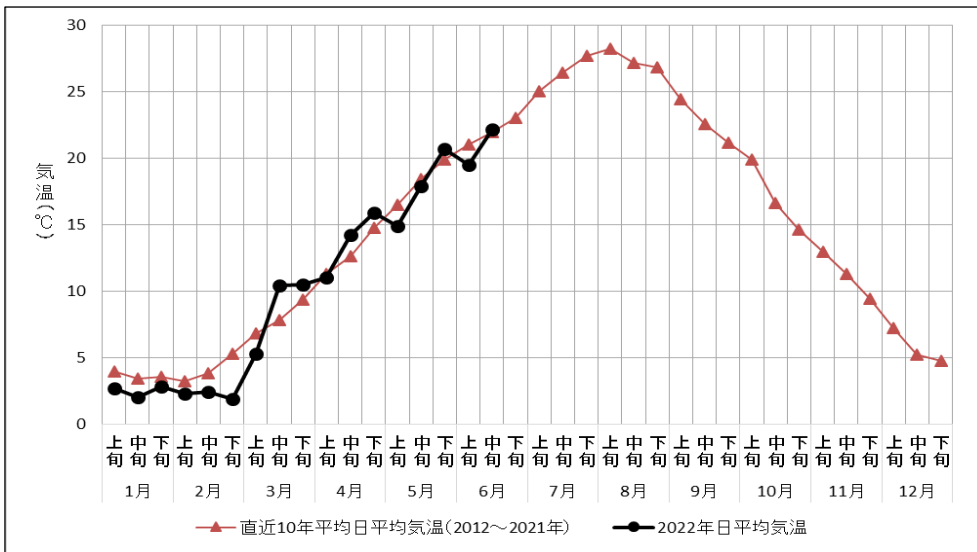


図-1 直近10年平均(2012～2021年)、2022年の日平均気温比較(豊岡)

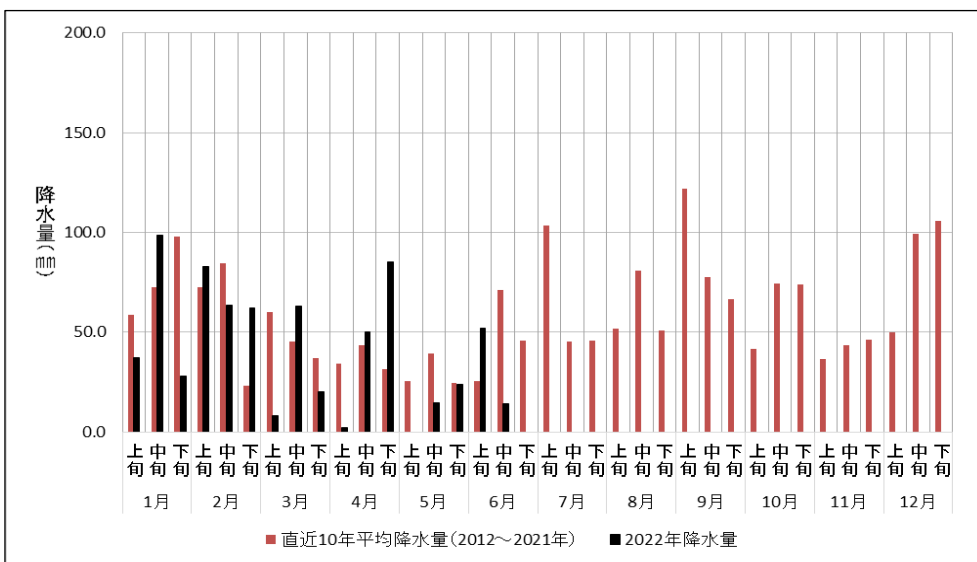


図-2 直近10年平均(2012～2021年)、2022年の降水量比較(豊岡)

～気象と生育について～

今年の近畿地方の梅雨入りは6月14日頃となり、平年より8日遅い梅雨入りとなりました(平年:6月6日頃)。

6月上旬には平年を大きく上回る降水量を記録しましたが、6月中旬の降水量は平年を大きく下回りました。

今後は短時間豪雨の発生など、急な気象の変化が懸念されるので、気象情報に十分注意してください。

【参考】
NOSAI ひょうご香美新温泉事務所管内(香美町・新温泉町)の梨の生育状況については、今のところ大きな被害は無く、良好に生育しているようです。

☆薬剤、防除の詳しいお問合せ・ご相談は・・・
豊岡農業改良普及センター (TEL 26-3705)
JAたじま豊岡営農生活センター (TEL 24-3641)

☆共済事故(病害虫、気象上の被害等)の発生は・・・
兵庫県農業共済組合 豊岡事務所 (TEL 42-4133)